

別表 支部・委員会の活動

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-6 シンポジウムの開催	茨城	講師を外部または会員に依頼し、登山と自然・山関連や海外登山等の講演会を開催して、山や自然への関心を高め会員の増加に努める。(4, 6, 9, 11, 1月に実施予定。一般参加者70人以上を目標)。
	栃木	「ヒマラヤの集い」として講演会を実施し、異文化理解と登山活動の発展に寄与する。11月に開催。一般参加者80名。 「山の講演会」年1回、6月に開催。一般参加者80名程度。安全登山や山岳文化活動の啓発を行う。いずれも一般財団栃木県青年会館と共催、栃木県山岳連盟の後援を得て実施する。
	埼玉	30年5月24日、「安全登山に関する医療講習会」講師は埼玉支部会員の金子医師。30年6月2日、「ハイキングレスキュー講習会」講師は埼玉県山岳連盟遭難対策委員長の瀬藤氏。30年11月7及び17日、「スマホGPS利用による読図講習会」講師は東氏。31年1月19日、「埼玉県の遭難事故事例に関する講演会」講師は埼玉県警山岳救助隊の隊員。31年2月24日、「山のファーストエイド・心肺蘇生講習会」講師は埼玉支部会員の恵氏と渡邊氏。
	越後	「山の日」制定記念事業として、7月25日に高頭祭を実施する。支部会員70名と一般参加者30名の予定。越後支部主催により、弥彦山大平園地の高頭仁兵衛(第2代会長)寿像前で開催する。日本山岳会本部の幹部から参加を予定し、記念講演も行っている。その後支部会員で清掃登山を行い、弥彦山頂へ移動、山頂奥の院で安全登山祈願祭を行う。夕刻より松明登山祭に参加し、弥彦駅まで市中行進する。
	富山	「山岳講演会」山岳に関する安全、自然、文化の普及啓発を目的として実施する。3月25日に実施。一般参加者60名程度予定。
	福井	泰澄祭：5月27日(日)越知山で実施。一般公募100名～120名・支部会員10名程度の参加予定。山頂で、野外ミニコンサート開催。
	山梨	奥秩父の開拓者である田部重治の遺徳を偲ぶ碑前祭と西沢溪谷周辺の記念登山を7月29日実施予定。一般参加者50名の見込み。支部会員10名参加予定。山梨市笛吹支所主催、支部は協賛とし協力支援。支部会員は主催者、スタッフとして参加。 第59回木暮祭 当会第3代会長木暮理太郎の遺徳を偲ぶ碑前祭と瑞牆山・金峰山麓の五里山記念登山。当支部、山梨県山岳連盟、増富ラジウム峡観光協会で構成する木暮碑委員会が主催、当支部が主管する。北杜市が協賛。10月21日、金峰山麓の北杜市須玉町金山平で実施。一般参加者50名、支部会員20名参加の予定。
	岐阜	山に関係する講師を招聘して、山岳講演会実施。11月9日に開催予定。演題・講演者は未定。一般参加者90名程度を予定。
	京都滋賀	「山水会」講演活動：京都新聞および京都府・滋賀県山岳連盟の後援を得て登山活動、登山文化啓発のための講演会を実施。年3回程度を予定。会員、一般含め年160名が参加見込み。
	関西	10月1日に、六甲山ロックガーデン入口の藤木九三レリーフ前にて藤木九三を偲び、登山振興に繋げる祭事を行うと共に、記念山行を実施。 11月に、山岳図書の著者の講演と懇談の「著者と語る会」を開催する。 「登山文化の伝承」活動：登山が他のスポーツに無い側面として持つ文化的行為を広範囲に捉え、今年度より関西支部が実施して来た 文化的活動の幅を広げ、「登山文化の伝承」活動として活発化する。5つのパートに分けて実施して行く。 1. 山岳書 2. 山岳画、写真 3. 山の音楽 4. 山と宗教 5. 登山ファッション
	四国	4月7日(土)、高松市峰山公園内にて「小島烏水祭」を開催する。顕彰碑前にて碑前祭を実施し、登山愛好家及び一般市民に対する小島烏水の紹介を通して登山振興を図る。参加見込みは80人程度。行楽で公園を訪れている人達に小島烏水祭を啓発する。
	福岡	「岳人のつどい」1月に実施。一般参加100名程度。山の映画会や講演会を太宰府で開催。
	北九州	「第2回楨有恒祭」： 10月21日 風師山 楨有恒 記念碑前にて実施する。約30人
宮崎	「第34回宮崎ウエストーン祭」11月3日(文化の日)に高千穂町と共催で実施する。参加予定者は約170名(一般90名)・地元小学生(20名)・日本山岳会会員60名(宮崎支部25名)の参加を得て実施する。式典の後、地元村おこし協議会主催の安全祈願祭および懇親会に参加し地元と日本山岳会会員の交流親睦を図る。高千穂町役場・当支部主催により高千穂町で開催。	

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-7「山の日」事業プロジェクト	北海道	「山の日」が施行され3年目であり、記念事業を実施。場所：札幌近郊の山(藻岩山など)。日時：8月11日。参加者：公募で30名程度 支部会員は事業運営のサポートとして20名程度
	青森	「山の日親子登山」：毎年8月11日に実施する。青森県弘前市久渡寺山で親子登山を実施し、一般参加者へ安全登山の指導を行う。一般参加者予定40名
	秋田	秋田県環境部自然保護課の山の日行事等に積極協力する。
	岩手	「山の日」関連事業として8月に新聞社支局の後援を得て、記念講演会と公募登山を行う。参加者見込み講演会30名、登山10名程度。I-9に一部重複記載
	山形	「山の日」に関連した事業は北海道東北地区集会と合わせて実施する。
	福島	「山の日・親子登山」8月11日「山の日」に支部主催の親子登山を実施する。募集方法は地方紙に働きかけて公募形式とし、20組100人の家族登山を目指す。(I-15にも重複記載)
	茨城	山の日制定により、一昨年度実施した茨城県山岳3団体による登山指導などの行事を本年度も計画し、茨城県への働きかけを含めて活動計画を進める。山岳3団体とは、茨城県山岳連盟、日本山岳会茨城支部、日本勤労者山岳連盟茨城県連盟。
	栃木	「山」の講演会：「I-6シンポジウムの開催」に記載
	群馬	「山の日イベントin谷川岳」みなかみ町、県岳連、県労山、谷川岳エコツーリズム協会とともに、谷川岳周辺で実施。今年の詳細は未定だが、自然観察から登山まで数コースに分かれて山を楽しむイベント。群馬支部では昨年に引き続き山麓の自然観察ハイキングを予定している。8月山の日に実施 29年のハイキングには30人が参加。支部会員は講師、スタッフとして参加予定。 「ぐんま山フェスタ2018」年1回夏に開催 29年は7月に実施し一般参加者5800人 上毛新聞社、県岳連、県労山との共催で前橋市の群馬県庁で8月上旬の週末に実施予定。計画書提出時点で詳細は未定だが、一般向けの講演や写真展、資料展示などを想定。5800人以上の参加を見込む。支部会員はボランティアで講師、相談員、補助員として参加予定。
	千葉	「房総半島郡界尾根踏査事業」：4年目になる継続事業。房総半島の上総と安房の郡境を踏査し、11月頃までに完踏予定。その後記録集を出版する。
	東京多摩	「山の日」施行記念イベントとして①高尾599ミュージアムとの共催で、「第3回高尾山親子森育ハイキング」を5月20日(日)実施。一般参加親子公募 10組25人。参加支部員12名。
	神奈川	記念講演会を一般公開で実施する。(1)神奈川大学体育会山岳部(団体会員)による活動報告。(2)外部講師による講演会
	越後	第2回糸魚川世界ジオパーク「子ども登山教室」：昨年の取り組みを継続し、小学生(高学年)15程度を対象に、「山の日」8月11日(土)に糸魚川市蓮華温泉周辺で行う。支部会員が講師となり、自然観察やハイキングなどをとおして自然への興味と促し、ハイキングの楽しさを体験してもらう。
	富山	山の日記念親子登山：山の日制定を記念して一般募集の親子登山を8月11日に実施する。場所は朝日町「南保富士」
	石川	山の日記念 第三回秋山親子登山 10月 一般参加10名 支部会員10名 山の日記念事業 「久弥祭」 深田久弥を愛する会と共催
次頁に続く	山梨	山の日制定記念2018 第4回やまなし登山基礎講座 初級・中級登山者のための安全登山に関するリテラシー(知識・技術・判断力・遭難事故防止等危機管理)の向上、実践登山および山岳文化・芸術に関する登山講座。平成30年9月から10回程度の連続講座。会場は共催の山梨学院生涯学習センター、今年度は若年層まで対象を広げ、一般受講生20名を見込む。支部会員は講師、スタッフとして10名参加予定。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-7「山の日」事業プロジェクト	信濃	<p>地域での登山振興や関係団体との交流連携を図ると共に、開かれた支部活動を行う。</p> <p>①岳都松本山岳フォーラム（11月）の実行委員としてフォーラムの運営に参加する。 ②上高地開山祭や松本市海外都市交流委員会（カトマンズ、グリンデルワルド）への参加</p> <p>③第72回ウエストン祭の開催 本部主催/支部主幹 6月3日ウエストン師の功績を偲び、山の安全を祈願すると共に記念講演を通じて、登山の振興と環境保護などの啓発を行う。また、前日には、徳本峠越えの記念山行を実施する。この記念山行では、一般参加者をはじめ、地域の公民館活動と連携し、次世代を担う子供達や家族の峠越えをサポートする。</p>
	静岡	<p>県内の主要山岳団体（県岳連、静岡市岳連、静岡県労山）との共同開催で一般向けに実施する。</p> <p>5/10講演会開催静岡市清水区辻生涯学習センター 対象：一般約200名 講師：支部会員白鳥勝治</p> <p>8/18</p>
	東海	<p>①夏山フェスタの開催：6月に開催予定。集客目標8,000人。夏山フェスタ実行委員会開催主体、東海支部は企画、運営に協力（参加支部員 80名を予定）</p> <p>②森の音楽祭の開催：10月27日開催を予定。森に親しみ、山の恵みに感謝するため、猿投の森にてオーケストラによる演奏を楽しむとともに、自然観察会を開催し、山・森に親しみ 山の恵みに感謝する機会とする。 一般400名、学生80名、支部サポーター80名を予定。</p>
	関西	<p>今年度より8月に「山の日講演会（仮称）」を実施する。</p> <p>11月に、子供を中心とした「わんぱく探検」を実施する。8月11日に、新聞社主催の「山の日」イベントに参画・支援する。毎年11月の第3土曜日に、山岳図書の著者の講演と懇談の「著者と語る会」を開催する。 一部 1-15にも重複記載</p>
	広島	<p>「ひろしま「山の日」県民の集い事業」：「山の日」制定を働きかけた「ひろしま『山の日』県民の集い」実行委員会の主要メンバーに、当初から広島支部会員が加わり、官民一体となってひろしま「山の日」県民の集いを実施してきた。参加者（一般参加者含む）50人を予定。又、同日北広島会場でジュニアクライミングを行い、一般参加者は20名予測。サポートは10人の予定。 初心者のための登山教室を東広島会場と北広島会場で開催し、一般参加者40人、サポート10名予定</p>
	四国	<p>「山の日」制定の趣旨を踏まえた一般市民等対象の講演会、若しくは登山愛好家等を対象とした安全登山確保（夏山・冬山）に向けた知識と技術を学ぶための講習会などを開催する。「山の日」に県や他団体と連携し「親子で学ぶ安全登山」を開催する。参加予定親子30組。</p>
	福岡	<p>山の日制定記念「夏山フェスタin福岡2018」を開催。 6月23日・24日5,000人規模の大イベント。 セミナーでは重廣恒夫副会長、貫田宗男会員等のJAC講師を予定</p>
	北九州	<p>「山の日」記念行事として 1. 「風師山家族登山」を開催。総勢約100人参加予定。 2. 山の版画展（版画同好会）</p>
	東九州	<p>「山の日」記念登山行事の実施：県内の主要山岳4団体の共催で実施する。「ふるさとの山に登ろう」のテーマで29年の大分市霊山での開催に続き、第2次として別府市の山で登山会を計画（平成29年度参加者は約100名）</p>
	山の日事業委員会	<p>鳥取県大山町で開催される第3回「山の日」記念全国大会（8月11日）への協力。東京都内で開催される第3回「山の日」フォーラム（6月9日～10日）への協力。その他、夏山フェスタ名古屋、夏山フェスタ福岡（ともに6月23～24日）等への協力。</p> <p>各支部の「山の日」関連事業を後方支援。各支部へのアンケート調査で、それぞれの「山の日」活動を整理して公開する。</p> <p>全国山の日協議会が制作する「山の日」読本（48ページ、15万部制作予定）の編集・制作への協力。「山の日」の意義とともに、日本山岳会の「山の日」への取り組みを周知させる記事を作成。</p>

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-9 登山教室・安全登山普及講習会の実施	北海道	NHK主催の登山教室に指導者派遣(夏冬に実施)。4-8名程度指導員として参加
	青森	青森県高体連登山部へ登山事業に指導員を派遣予定。 八甲田山の日(7月8日)に支部会員を安全管理・補助役員として派遣予定。
	岩手	地域の登山初心者のために安全登山や登山マナーなどの普及指導を、遠野郷石上山にて実施する。支部会員は指導者、補助員として参加予定。9月に実施。
	宮城	親子登山教室：親子で楽しむ登山おすすめコースなど県内の山をフィールドに、10組程度を対象に親子で楽しみながら山に親しんでもらえる親子登山教室を、年2回程度、公募して開催する。参加者には登山に必要な知識を習得してもらうとともに、支部発行のキッズ会員証を交付する。実施にあたっては地元教育委員会との連携を図る。公募の際は、河北新報に協力を要請するなどして周知を図る
	秋田	自然学習センター主催の太平山登山へ支部会員がボランティア協力をしている。(年5回程度小・中・高・一般など150名程度)
	福島	一般登山者を対象とした「フリークライミング講習会」を継続(本年度5回目)実施し、安全登山の普及と技術の向上を図る。
	栃木	ユース栃木勉強会：特別事業補助金を活用するユース栃木主催の登山技術・知識の勉強会(昨年度からの継続)ユース栃木の事業を支援し、将来の支部活動のリーダー育成と会員増強を目的としている。 「雪崩勉強会」：支部内外の参加者の交流を深める事により、山岳会の発展と活性化に資する。
	群馬	「チャレンジキッズ」子ども登山体験。岳連が主催する群馬県内での子ども対象の登山体験イベント。年3～4回、冬山を含めて実施。谷川岳周辺での岩・沢登り体験やスノーシューハイクなど。主催の群馬県山岳連盟に協力 若い会員の入会を促進し、密度の濃い育成を図る。各回10人程度が参加。群馬支部からは各回1～3人がスタッフとして参加。 健康登山に関する事業：一般ハイカーを対象に公募する新事業。医学的な見地から山登りの体への影響を認識し、真の健康増進登山はどんなスタイルか、地元群馬の山々を歩きながら考える。赤城山を中心とした実地山行を4月から11月まで全7回実施予定。
	埼玉	登山振興及び安全登山普及のために登山教室「埼玉やま塾」を開催する。 講師は埼玉支部会員の平川氏(登山ガイド有資格者)、講師補佐として埼玉支部会員が参加し、初心登山者に机上講習(座学：5、6、9月)及び実地講習(登山：6、7、9月)を実施する予定である。
	東京多摩	登山教室運営：2年間のプログラムで、多摩地域に安全登山を目指す自立した登山愛好者を育成する5～7月、立川市と共催で初心者向け登山講座を実施。30名。並行して(6～8月)多摩支部独自に初心者登山実習を実施。その修了生対象に初級登山教室(9月～翌々年3月迄)を実施。25名。初級登山教室修了時に入会促進を図る。今年度は、6期生と7期生が同時並行で学ぶ。参加支部員25名。 講演会 ①7月末、安全登山啓蒙のため、遭難事故等の講演会を開催。一般25名公募。支部会員20名。 ②10月、一般公募者向けに山岳に関する講演会を開催。山により親しむきっかけと機会を提供する。一般120名公募。支部員30名。 ③11月、自然保護の啓蒙を目的とした自然保護講演会開催。一般60名公募。支部員10名。
	越後	①「公募登山」：第1回(6/10)白鳥山、第2回(7/上旬)上高地集会(焼岳、徳本峠)、第3回(10/中旬)塩の道古道を実施する。地元新潟日報や石井スポーツ新潟店でポスター掲示により、一般参加者20名程度公募する。支部会員による山行企画と事前講習を行い、引率ガイドをしながら登山実技指導を行う。同時に、一般参加者の日本山岳会入会勧誘を行う。 ②県山協主催の登山講習会等に支部会員の講師派遣を行い、安全登山の普及に努めていく。
	富山	県教委及び富山市主催の集団登山指導者講習会・県民登山教室、富山市民登山・富山県山岳連盟主催の各種講習会、等に指導者を派遣して協力している。
	石川	第四回白山親子登山教室 座学7月 登山8月 一般参加15名 支部員15名 座学日程は登山前月の一日を想定、山の楽しみ方・天候・歩き方・緊急時対応など支部会員により講義。登山は支部員サポートにて白山室堂泊1泊2日の予定とする。 「山の日記念 第3回秋山親子登山」：10月 一般参加10名 支部会員10名。参加者は白山親子登山に初回から3回までの参加者を優先とする。 I-7重複記載

次頁に続く

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-9 登山教室・安全登山普及講習会の実施	山梨	<p>第3回やまなし登山基礎講座：I-7に記載</p> <p>登山教室の実施：やまなし登山基礎講座修了生を主な対象者として昨年から実施してきた月例の支部山行を本年も開催する。日帰りまたは1泊2日山行として、修了生以外にも参加者を増やし、JACのPRも兼ね賛同者の増加と、支部会員の増加を目指す。なお、山行委員会を中心に参加者の登山経験などの情報収集、山行計画、山岳保険の加入等十全な準備のうえ、開催する。各回、一般参加者5名、支部会員10名の予定。</p>
	信濃	「山の日」の欄に記載
	静岡	ハイキングセミナー：初心者対象に年4回を予定している。一般参加者各20名程度を予定。4/22花沢山、5/20大日古道、大日峠、10/21大光山～安倍峠、H31.2/24竜ヶ岳 地元紙に募集要項掲載依頼、初心者の「登山力(知識、技術)」向上のため、支部会員は10名前後で対応する。
	東海	<p>①登山学校の開校：未組織登山者への安全登山の啓発、支部の人材の確保と育成、支部活動の活性化を目的として運営。経験及び技量に合わせ初級、中級及び上級の3つのグループに分け、一年間の実践・学習を通して技術の習得を目指していただく。毎月1回の現地山行に加えルームでの数回の座学を予定。生徒数は初級20人、中級20人、上級10人程度とする予定。生徒は支部友会員として扱い、支部主催の行事への参加も認める。</p> <p>②登山教室の継続：安全で楽しい登山普及のため、中日文化センターの登山教室の継続を予定。生徒数：15人程度、講師4人程度を予定。</p> <p>③安全登山啓発のため、年間4回の講演会を開催。(技術向上委員会の活動)</p> <p>④東海支部傘下の東海学生山岳連盟が主催するゴザフェス(御在所フェスティバル)への支援</p>
	京都滋賀	「安全登山講習会。」年6回実施 4月6月7月8月9月10月1月2月 一般参加者 10名程度。年間100名程度。地元の京都新聞の後援を得て、地域の登山者の為に実施。滋賀県山岳センターでの人工壁を使つての岩登り講習。机上での登山講習。比良山系での実地登山講習をおこなう。支部会員はボランティアで指導者、補助員として参加予定。
	関西	初心者・中級者・上級者各クラス毎に、共通の3回の座学と、クラス毎に9回の実技講習を行う。「安全登山の普及」を目的に、山登りの初心者から雪山や岩登り等の本格的な登山を目指す方々を一般公募して実施している。
	四国	昨年に引き続き、愛媛県でフラワートレッキング講座を10回程度行う。地元広報誌に講座の案内を掲載し、登山用品店にはチラシを置いて受講生を募集する。受講生に安全登山の初歩的な技術や植物の知識を現地講習し、併せて四国支部の活動を紹介する。1回あたりの受講生は10人程度を予定。講師は四国支部の会員が務める。
	熊本	<p>「登山教室」年2回、6月と9月に実施。会員・会友と一般参加者：各行事ごと定員45名、年間90名。春と秋の花鑑賞を兼ねた登山教室で、会員は班長やリーダーを担当する。</p> <p>「青少年対象登山教室」35歳以下の登山愛好家30名 熊本市内の公立公民館で安全登山に関する知識を学ぶ。座学(4時間)と実技を支部会員が担当する。</p> <p>「登山研修会」夏と冬の2回、会員のリーダー研修と参加者の登山技術の研修を実施。各参加者：会員20名、一般20名。夏の沢登り、冬の雪山登山を通して、リーダー養成と参加者の登山技術研修を実施。</p>
	東九州	「第6回登山入門教室」座学1回、実践講座4回の計5回の初心者向け登山教室を実施する。山登りの初心者を対象 ・教材、講師等全て会員と会員の手作りで行う。(定員は30名以下)
	次頁に続く	宮崎

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-9 登山教室・安全登山普及講習会の実施 続き	YOUTH CLUB	「安全登山講習」の実施：日本山岳会ウェブサイトにて非会員向け講習会として募集。委員会会員はボランティアで指導者・補助員として参加。学生部主催でマラソン大会(50年継続)、クライミング大会、アイスクライミング講習会を毎年実施。各大学山岳部、WV部等から大勢の学生が参加。
	遭難対策委員会	「山岳遭難防止セミナー」の実施：年2回、無雪期向け(7月)、積雪期向け(11月)に開催。一般参加者各回50名。講師は現場の各県警山岳救助隊などから招聘し、安全登山普及啓発を進める。 「安全登山講習会」の実施：年2回、5月と10月に開催。一般参加者各回30名。ファーストエイド、ロープワーク等の安全登山技術を習得し、普段の山行に活かせる内容で実施する。他の委員会との共催、委員派遣等も含め調整する。
I-11 冬山登山指導	北海道	事業当初(21年)は支部会員の技術力向上が目的。現在は会員外からの参加も募っている。〈机上講習〉：雪崩発生メカニズムから対処法・ビーコン使用によるレスキュー方法など。〈実地講習〉：雪質調査やレスキュー講習など。日時：平成30年12月中旬から平成31年2月中旬の3回程度。場所：札幌市内での雪崩理論・ビーコン操作などの机上講習会・道内山岳地域での実地講習。参加者：支部会員など10名程度 講習資格者10名程度の会員が取得し講習を主宰。
	青森	八甲田山スキーコースに地域関係者と共に遭難防止用の誘導竹竿を設置する。年2回2月と3月に実施 一般参加者60名。
	山陰	大山冬山パトロール：冬山遭難防止対策として、鳥取県警と合同で大山冬山安全指導の為、冬山パトロールを実施する。大山寺から夏山登山道を経由し、頂上往復して安全登山を呼びかける。
I-12 身体障がい者支援登山	茨城	「茨城県 自閉症協会 支援登山キャンプ活動」年1回、7月～8月頃に、自閉症者とその家族30名前後と共に、茨城支部は茨城県自閉症協会主催の自閉症者登山キャンプ活動に協力し、支部会員指導による夏山登山を実施している
	埼玉	「障がい者とのふれあい登山」。平成30年4月8日(日)に一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会との共同主催で実施する。今回で8回目となる登山は、ときがわ町の弓立山(往復または越生駅まで)コースを予定している。参加者は、障がい者(坂道の上り下りが可能であるという条件)とその家族、日本山岳会埼玉支部の会員、スポーツ協会職員等。
	東海	① 視覚障がい者支援登山、春と秋の2回開催を予定、参加者累計年間125人(障碍対象者：年35人、一般サポーター年20人、支部員サ ② 知的障がい児支援登山(SON愛知と協働)、10月開催を予定、参加者70人(障がい児10人、SON愛知20人、支部サポーター30人) ③ 視覚障がい者支援登山(ひまわり登山)、年3回、参加者年30人(障がい者6人、支部サポーター24人)
	熊本	知的障がい者対象支援「登山教室」：8月里山を中心に知的障がい者とその保護者を対象に実施。参加者：会員25名障がい者15名、保護者20名。NPO法人スペシャルアスリート熊本と共催で知的障がい者とその保護者を会員の引率で登山を実施。
I-15 幼稚園児から中学生までの体験登山	北海道	子供サマーキャンプ：第19回目を迎え、ツリークライミングや周辺の登山、キャンプファイヤーなどの体験を通じて次世代の登山愛好家を育成し長期的な視点で会員獲得を目指す。場所：国立日高青少年自然の家からまつキャンプ場。日時：平成30年7月末から8月初めの2泊3日。参加者：子供・保護者25名程度 支部会員は事業のサポートとして20名程度
	宮城	仙台市内の小学校が5年生を対象に実施している「泉ヶ岳登山」の支援事業として、仙台市教育委員会及び小学校と調整・連携を図り、生徒たちに安心して安全な登山を楽しんでもらえるよう5校程度を目標に支援する。
	山形	県内の小学校を対象に専門のイラストレーターから「学校から見える山」のパノラマ図と鳥瞰図の書き方を指導してもらい山の名称、山の民俗、植生、登山等に関する資料を作成し、自然景観への興味と感性を養う一助とする。今年度は最上地を対象として実施する。
	福島 栃木	「山の日・親子登山」 I-7に重複記載 「親子登山教室」を夏休みに実施。栃木県教育委員会、日光市教育委員会、栃木県山岳連盟の後援を得る予定。大自然に触れながら、親子の絆を深め、他人と協働しながら青少年の人格育成の一助とする。参加人員は30名程度の見込み。支部会員は指導者・補助員として参加する。

次頁に続く

支部名 委員会名	事業内容	
I-15 幼稚園 児から中学生ま での体験登山	千葉	<p>継続事業として、児童養護施設 社会福祉法人「春香園」の課外活動を、自然に親しみ、安全に登山する目的で引率。年3～4回。児童・職員 約10名。支部会員はボランティアで指導者・補助員として参加予定。</p> <p>「親子登山の実施：28年度に初めて実施した「親子登山」を3回目の継続事業として実施予定。茂原市子どもセンター主催、千葉支部共催、茂原市教育委員会後援。親子15組程度。支部会員は、指導者・補助員として参加予定。 12月に実施。</p>
	東京多摩 越後	<p>くにたち第4小学校高尾山登山支援：10月6日（土）、地区育成会が実施する高尾山登山を支援する。参加30名（児童、教諭、育成会）。</p> <p>糸魚川ジオパーク「子ども登山教室」：山の日事業として、I-7 山の日欄に記載。</p>
	石川	<p>第四回白山親子登山教室： 第三回秋山親子登山 10月 一般参加10名 支部会員10名。参加者は白山親子登山に初回から3回までの参加者を優先とする。支部員はボランティアとしてサポートする</p>
	東海	<p>親と子のふれあい登山（自由が丘幼稚園）、10月と11月2回に分けて開催、参加者250人（親子 200人、幼稚園サポーター20人、支部サポーター30人</p>
	関西	<p>「山の日」関連事業として毎年11月に、子供を中心とした「わんぱく探検」を実施する。I-7「山の日」の欄に記載</p>
	北九州	<p>「さいわい幼稚園の園児の遠足登山サポート」 1. 3月20日：卒園児の矢筈山ディキャンプ支援（総勢50人・支部員8人） 2. 5月は2日間にわたり風師山への遠足登山サポート（年少組60人と年長組60人・支部員10人）</p>
	東九州	<p>「第17回青少年体験登山大会」 初心者に山登りの楽しさ、面白さを体験してもらい、登山の普及につなげていくことを目的に青少年をはじめ、一般の初心者を対象に体験登山大会を実施する。（過去16回実施、参加者は毎年50名から60名程度）</p>
	宮崎	<p>「ときめき家族登山」：夏休み期間中、主に小学生を対象に家族約25組を一般公募して、登山・野外活動など自然体験活動を通して自然を愛する感性豊かな子供の育成に努める。会員20名以上でこれに当たる。I-9と重複記載</p>
I-16登山道整 備	北海道	<p>北海道山岳9団体構成の「北海道山岳交流会」のメンバーと連携し、以下の事業を実施。</p> <p>①山のトイレ整備～美瑛岳の山小屋周辺の携帯簡易トイレの管理とキャンプ場周辺の環境整備。</p> <p>②廃道復活等環境整備～廃道または廃道に近い登山道の笹刈り、登山道整備を実施。</p>
	青森	<p>「八甲田山登山道整備ボランティア」青森県観光国際戦略局観光企画課の要請を受け、北八甲田山系で登山道維持ボランティアとして、7月から9月の期間に登山道の整備を行う。 一般参加者延べ180名。</p>
	岩手	<p>環境保全活動の実施：夏油山城の駒ヶ岳へ通じる旧コースの調査と整備、前刈山登山道の保全、整備活動を実施する。 9月と11月に実施、一般参加者各10名程度。支部会員はボランティアで指導者、補助員として参加予定。</p>
	秋田	<p>「太平山歩道整備」：年1回 11月に実施。太平山歩道の刈り払い、案内板やベンチ等の補修・設置を行う。支部会員はボランティアで指導者、補助員として参加予定。 「太平山山開き清掃登山」： 毎年6月第2日曜日に実施の際にリーダー派遣をし協力。支部会員10名程度、秋田市地区からの参加者は50名程度を見込む。</p>
	山形	<p>「清掃登山」を実施予定。平成30年度は、春季に旧朝日村ヤチハバ高層湿原での清掃登山を計画した。対象は会員、家族、知人等併せて20名程度とする。</p>
	福島	<p>年3回（6月、7月、9月）荒廃している登山道の整備・復元作業を実施。特に県山岳連盟傘下の地元山岳会に働きかけて、幅広い参加を募る。</p>
	栃木	<p>「那須岳クリーンキャンペーン」栃木県山岳連盟と共催で、那須岳周辺の登山道整備と清掃を行い、山岳環境の保全に努める。9月第1日曜日に実施。一般参加者200名程度。</p> <p>「日光山系清掃登山」を実施し、山岳環境の保全に努めている。7月に実施。一般参加者200名。栃木県山岳連盟と共催で、日光山系の清掃登山を行い、山岳環境の保全に努める。</p>
	埼玉	<p>4月総会記念山行時、山の清掃活動を実施。12月忘年山行時にチャリティーオークションを行い収益を埼玉県障害者スポーツ協会に寄付する。 4月28～29日、高尾グリーンセンター登山道整備及び森づくり研修会</p>

次頁に続く

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-16登山道整備 続き	東京多摩	東京都レンジャーとの協働作業で登山者の安全と登山道の拡幅・荒廃防止を目的とした登山道整備・清掃を行う。①雲取山石尾根の石積み作業による登山道復線化の防止。5月。参加支部員6名 ②奥多摩清掃登山。11月。参加支部員6名
	越後	清掃登山や弥彦山雪割草パトロールを行い、山岳自然環境の整備に協力する。
	富山	「高頭山」登山道整備（年1回、播磨祭記念登山に先立ち、5月26日(土曜日)に実施。支部会員が登山道整備を行う）。
	石川	「登山道整備活動」1. 白山越前禅定道 三つ谷-杉峠 5月中旬 支部員10名参加予定。 2、火燈山 火燈古道 6月中旬 支部員10名参加予定 3..犀浅みくまり道 支部会員10名予定
	信濃	徳本峠の登山道整備（5月、11月）。松本市、徳本小屋など関係団体と連携し、徳本峠越え登山道の整備保全を行う。
	岐阜	金華山(岐阜市)山麓の小径修復に 3名派遣 山岳パトロール：岐阜森林管理署内のパトロール(森林保全巡視・環境美化)。会員登録者が国有林を7名 平成29年～平成32年3月
	静岡	安倍東山稜の山 主に倒木処理 晩秋～冬 登山道を点検しながら少人数で行う。
	東海	山岳環境保全事業として登山道清掃（HATJと協働）
	関西	「東お多福山草原再生・保全研究会」に参画し、六甲山東お多福山スズ草原復元の協業活動を保全・整備活動を年7回以上行う。 環境省近畿地方事務所関連の「大台ヶ原の利用に関する協議会」に関係者として参加し、環境保護と利用について活動する。 やまみち保全巡視活動、自然観察会、森林観察会を行う。
	山陰	大山隠岐国立公園協会として、登山道の整備、環境美化参加協力する。
	広島	聖山山頂付近の景観回復及び環境整備 参加予定25人。 中央分水嶺（聖山別れ～奥匹見峠分岐）の登山道整備参加予定25人。 高岳山頂付近の環境整備参加予定30人。
	四国	葛籠～夫婦池～剣山見ノ越に至る剣山古道の復活に向けた調査を実施する。 国立公園内等においてNPO法人との連携により登山道整備や清掃活動を2回程度実施する。 三嶺登山道（菅生登山口）周辺の美化のため、放置間伐材等の収集整理を行う。
	北九州	英彦山清掃登山：4月15日に実施予定。約70人の参加見込み（支部員30人参加）。添田町観光課、地域山岳会等と連携のうえ実施。 英彦山トイレ清掃活動（筑豊山の会、田川かたつむりの会等と連携のうえ実施）。英彦山山頂のトイレ掃除を担当、年10回ほど実施している。 （支部員参加者5人/回）
東九州	登山者の多い九重山の登山道を毎年場所を変えて選定し、清掃登山を実施する。	
宮崎	宮崎市近郊の山を中心に登山道整備・清掃等を実施する。	
I-17山岳自然観察会の実施	岩手	地域の登山愛好者向けに万寿山の花の観察会、なめとこ山の紅葉などの自然観察会を行う。支部会員はボランティアで指導者、補助員として参加予定。年2回 4月と10月に実施、一般参加者各10名程度。
	秋田	秋田市仁別植物園の来園者に植物、樹木等の説明や自然観察会等を実施。（年4回一般参加者100名程度） 自然観察会等に支部会員がボランティアで指導者として協力している。（年4回、80名程度）
	埼玉	11月18日、越生町教育委員会後援による高取山自然観察会及び自然観察会
	千葉	「自然観察会の実施」：10月頃から3月頃にかけて、検見川浜から花見川沿いに自然観察をしながら、印旛沼まで歩く。地域の自然愛好者向けに一般公募とする。一般参加者10名程度。支部会員はスタッフとして参加者の支援を行う。
	東京多摩	地域の自然愛好家向けに地域山域内の自然観察会を行っている。年2回実施。一般の人を公募し、自然環境に触れ親しみ、癒しを楽しむ場を提供。①御岳山レンジョウマ観察会 8月 公募参加者：30名 参加支部員：8名 ②高尾山「シモバシラ（氷の花）」観察会。12月～1月 公募参加者：25名 参加支部員：8名
	東海	猿投の森での自然観察会の実施、毎月第3土曜日 一般対象 参加者数「一回当たり」： 一般15名、支部員3名
	熊本	山野草観察「登山教室」：5月下旬、九州管内の山の山野草の鑑賞と観察観察。一般募集して会員との交流も図る。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
Ⅱ - 2 山岳図書館の運営事業	神奈川	かながわ山岳誌プロジェクト：5年計画で神奈川県下の2.5万分の1の地形図に記載された山名と峠及び登山対象となるピークのすべてに登って日本山岳誌の神奈川県版を作成し、それらの情報提供などを通して社会へ貢献する。一部の踏査コースを対象に、一般向け公募山行の実施も検討する。
	越後	広報誌「越後支部報」を年3回発行し、登山及び自然保護の啓蒙指導を行う。
	山陰	「雲伯の百名山(仮称)」の発刊。山陰の出雲、伯耆地方の山々から100座を設定し、神話や古事記の歴史に絡め踏査して、紹介する。2019年の山陰支部創立70周年記念事業の一環として発刊予定。
	図書委員会	「山岳図書を語る夕べ」「山岳史懇談会」などの講演会の開催。※若い会員が興味を持てるようなテーマを取り上げるとともに、失われつつある日本山岳会の良き伝統にも題材を求める。 120周年を目標に新々日本山岳誌の検討を始める。
Ⅲ—1 森づくり活動	青森	「白神山地ブナ林再生事業」を津軽森林管理署と協力して実施（6月、9月に一般の協力を得て実施。一般参加者約30名程度）。
	福井	福井県越前町旧糸生中学校隣の山林にて、①花壇の整備、②草刈り、③池に繁殖したガマの除去。④遊歩道の整備、⑤作業に関する道具や材料を収納出来る小屋の建設 など4月～11月の間、毎月1回作業を行う。（毎回7～8名の参加）
	岐阜	「権現の森林づくり」岐阜県林政部治山課との協働による森林づくりを実施。4/15～11/18まで全12回予定。活動場所：岐阜県揖斐郡揖斐川町藤橋地内。会員・会友・一般参加。支部会員は、ボランティアで指導者・補助員として参加している。今年度のテーマは①専門家による安全管理と樹木の枝切り指導を受ける ②前年度設置の防獣ネットによる動物食害防除の成果調査 ③植栽木の生育状況の継続調査、登山道の補修整備 ④地生え幼木(ブナ科、カエデ科を中心としての保護育成
	東海	「猿投の森づくり活動」（市民の森林体験のための整備、森の幼稚園、森の音楽祭の実施。） ①愛知県有林「やまじの森」での森づくり活動-猿投の森整備基本計画をベースとし、保健保安林・土砂流失防備保安林として整備を図りながら、既設遊歩道などの維持・水土保持・生物多様性等環境機能の向上を目指す。②東大演習林での間伐作業③JAC所有地山桜フィールド-森づくりや森の恵みを楽しめる基地として整備する。作業活動：毎月2回の定例作業に加え年間数回の臨時作業、参加人員：年間累計約1300名
	京都滋賀	「緑化事業支援活動」：滋賀県大津市「藤尾の森」で森林保全活動。毎月活動。会員、一般含め年120名が参加見込み。
	関西	大阪府高槻市の「日本山岳会関西支部本山寺山の森」で、社会貢献の森活動による森づくり活動を行う。近畿中国森林管理局長と協定（2015年4月～2020年3月）締結中。関西支部管轄の下に活動主体団体「本山寺山森林づくりの会」で、森林の保全、整備活動を月2回以上行う。「関西支部自然保護委員の委員会」を定期的に開催、「本山寺山森林づくりの会」の理事会・総会を開催する。
	宮崎	「水源の森づくり」（田野の森（宮崎市）、ロキシール（西都市）、野尻の森（小林市）総面積1.1ヘクタールに広葉樹2,000本を植樹して、毎年3回の下草払い、枝打ち、補植等の作業を延べ40名で行い、森林の育林・保護活動を実施。その他、宮崎支部が団体会員として入会している「水源の森づくりをすすめる市民の会」の育森作業に年3回延べ15名が参加して作業に年3回延べ15名が参加して、森づくり活動を行っている。 県内の登山道の多くが国有林に属していることから、会員の十数名を国有林森林保全巡視員に登録し、山行に際して、樹木を中心に観察し異常等が確認されれば宮崎森林管理署に報告する。
	高尾の森づくりの会	東京都八王子市裏高尾の小下沢国有林にて、毎月第2土曜日を定例作業日とし、除間伐、下刈り、つる切りなどの森林整備作業をボランティアで実施する。また、間伐材を利用した木工、並びに親子森林体験スクールなどの普及啓発活動を併せて実施する。年間延べ2,000名の参加を予定する。 「三宅島緑化再生活動」三宅村当局との協定に基づき、国土緑化推進機構の助成を受けて、三宅島の火山災害跡地の緑化再生活動を昨年に継続して実施する。今期も例年通り5月と10月に三宅島へ赴き、植樹や道（遊歩道）づくりなどの作業をボランティアで行う。現地参加者を含め各回25名（延べ100人・日）の参加を予定する。
Ⅲ—2 山岳環境保全活動	北海道	北海道の補助事業「高山植物盗掘防止事業」を受託。指導員・監視員の派遣協力。現地参加者を含め各回25名（延べ100人・日）の参加を予定する。
	宮城	支部及び会員等が行う登山活動を通じ、山岳人として自然保護の大切さを認識し、登山中のごみ拾いや、様々な機会をとらえて自然保護の重要性についての啓発活動を実施していく。また、荒れた登山道などについて関係する機関に通知するとともに可能な範囲で補修整備に努める。更に、国、県から委嘱されている指導員を中心に適切な指導及び巡視に努め山岳環境の保全を図る。

次頁に続く

事業名	支部名 委員会名	事業内容
Ⅲ-2 山岳環境保全活動 続き	群馬	群馬県北5市町村と群馬県山岳連盟が主催する「上州武尊スカイビューウルトラトレイル」普及発展に寄与すると共に、相反する環境問題についての啓発活動を推進する。群馬支部からスタッフとして5名程度が参加。
	埼玉	5月、9月、森づくり及び自然観察会（さいたま緑の博物館）。10月13～14日、玉原高原自然観察会。31年1月24日、「埼玉の自然」第5回シンポジウム
	東京多摩	三ツ峠山アツモリソウ保護活動：6月下旬、三ツ峠山荘主人（東京多摩支部会員）の指導で除草作業を実施。参加支部員12名。今年は、本部自然保護委員会と合同で実施。
	山梨	自然保護活動の一環である山梨県山岳レインジャー活動（山梨県委託事業）として4～9月南アルプス・八ヶ岳ほかの高山動植物調査
	静岡	南アルプスの高山植物保護活動事業：県ボランティアネットワークの呼びかけに応じて、ネットワーク登録会員が防鹿ネットの補修、裸地での植生回復作業を行う。茶臼小屋周辺、聖平、三伏峠、塩見岳東峰東側など。7月～10月
	東海	環境省調査事業であるモニタリング1000に参加し森の生物調査（自然保護委員会担当）
	京都滋賀	滋賀県比良山系ダング坊遺跡緑化支援活動。年6回活動。会員、一般含め年160名が参加見込み。
	山陰	「大山山頂山小屋トイレ汚泥キャリーダウン」参加協力する。
	広島	NPO法人西中国山地自然史研究会との合同事業として、戦後牧場として開拓された原野を、本来の湿原に再生し、鷹などの猛禽類や野生植物の再生を試みる。広島支部は「霧ヶ谷湿原 自然再生地」(下流部 2.5ha・上流部 1ha)の保全活動（除伐、除草）などを4月21日実施予定。参加数（一般参加者含む）は50名予想。
	北九州	九州森林管理局より受託している森林保全巡視活動を1年間通じて、受託した20名の巡視委員が各山域で実施するとともに、年2回、一斉巡視活動を行う。
熊本	森林保全巡視活動：4月下旬と10月下旬、年2回 森林管理局からの委託された森林監視員を中心とする会員で熊本県内の登山道の保全と清掃を実施。	
東九州	平成25年から続けている祖母・傾山系のスズタケ枯死とシカの食害実態調査を、大分県植物研究会との共同作業で実施する。6月と10月の年2回、定点観測と地点移動観測の調査で実施。	
自然保護委員会	「写真が語る山の自然：山岳写真データベース」山岳会会員や一般から過去の山岳写真を集め、現在の写真とを比べて山の自然環境がどう変わってきたかを調べるためのデータベース。一般の登山者や研究者が利用者として見込まれる。 「機関誌 木の目草の芽」発行：自然保護委員会の会報「木の目草の芽」を年6回発行。配布は日本山岳会各支部、山岳団体、自然保護団体や関係者、自然保護活動に関心のある人達。内容は自然保護関係者からの記事、支部活動の報告。発行・編集は自然保護委員会	
他1-1 会員を対象に登山活動を指導する	山行委員会 支部事業委員会	「救急救助講習会」の実施。6月に実施予定。会員外にも参加を呼び掛ける。会員のため登山を実施(年5～8回程度)。 ＜国内外の各種山行の企画・実施＞当委員会の使命を踏まえ、会員のニーズに応える各種山行等を企画、実施する。「安全に楽しく、全国の仲間と一緒に、憧れの山に登ろう」が、実施のコンセプトである。年間13回程度の山行等を実施予定。 指導者養成講習会の実施：1、支部へ講師派遣形式の講習会を実施指導者養成と安全教育を実施。 2、安藤百福センターを利用して講習会(実技・座学)の実施。 3、全国支部懇談会の開催支援 特別支部事業補助金(会員増強・若手リーダーの育成、山の日支援)支部からの応募を受け事業内容を審査し理事会に報告する。
他1-3	総務委員会	会員向けに、日本山岳会のマーク入りグッズを製作し販売。
他1-5	会報編集委員会	会報「山」のNo.875～No.886を発行する